

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ホルステリ 20RM 専用消臭液  
会社名 : 株式会社アスカメディカル  
住所 : 大阪市城東区関目 2 丁目 12-10  
電話 : 06-6939-3011  
FAX : 06-6939-3225  
推奨用途 : ホルステリ 20RM 専用消臭液  
使用上の制限 : 上記の用途以外には使用しないこと。使用期限：製造日より 1 年

### 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類、GHS ラベル要素

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2A

(注) 記載なき GHS 分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHS ラベル要素



注意喚起語：警告

危険有害性情報

皮膚刺激

強い眼刺激

注意書き

安全対策

取り扱い後は眼をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：大量の水と石けんで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと、次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

ホルステリ 20RM 専用中和液で中和させた後、多量の水で希釈して処理する。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
DL-リンゴ酸水溶液	6915-15-7	18 - 19	(1)-452
食用色素緑	非公開	非公開	非該当
保存用製剤	非公開	非公開	非該当

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

この成分表に記載なき成分は、日本政府による GHS 分類結果一覧に記載されていません。

#### 4. 応急措置

##### 応急措置の記述

##### 吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動する。  
直ちに医師の手当てを受ける。

##### 皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに大量の水で洗い流した後、石けんでよく洗う。  
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受ける。  
汚染された衣服類を脱ぎ、再使用する際には洗濯をしてから着用する。

##### 眼に入った場合

水で15分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。  
目の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受ける。

##### 飲み込んだ場合

直ちに多量の水を飲ませ吐き出させ、医師の手当てを受ける。

##### 応急措置をする者の保護

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面、呼吸用保護具、安全靴などの適切な保護具を着用する。

##### 医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を行う。

#### 5. 火災時の措置

##### 消火剤

##### 適切な消火剤

水、粉末、炭酸ガス、泡など。

##### 使ってはならない消火剤

アルカリ金属を含む粉末消火剤は使用すべきではない。

##### 特有の危険有害性

火災時には、不完全燃焼による一酸化炭素などの有毒なガスを生じる恐れがある。

##### 消火を行う者への勧告

##### 特有の消火方法

付近の着火源を断ち、保護具を着用して消火する。

##### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

#### 6. 漏出時の措置

##### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には必ず保護具（保護手袋、保護眼鏡など）を着用する。

##### 環境に対する注意事項

公共用水域に流さないよう留意する。

##### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は拭き取り廃棄する。水洗する際は炭酸アルカリや重炭酸アルカリで中和した後、適切な排水処理を行う。

多量の場合は掃き取り蓋付の容器に入れ、炭酸アルカリや重炭酸アルカリで中和した後、適切な排水処理を行う。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

##### 技術的対策

作業終了後は身体、手、口、目、顔などをよく洗う。  
衣服等に付着した場合は脱ぎ捨て、よく洗ってから着用する。  
漏れ、飛散しないようにする。

#### 安全取扱注意事項

皮膚、目などの接触を避ける。

耐酸性手袋、耐酸性前掛け、保護眼鏡（ゴーグル等）などの保護具を着用して作業する。

#### 接触回避

目、皮膚との接触の恐れがある場合には適切な保護具を着用する。

#### 保管

##### 安全な保管条件

換気のある乾燥した暗所に密閉して保管する。

##### 安全な容器包装材料

ポリエチレン、ポリプロピレン

### 8. ばく露防止及び保護措置

#### 管理指標

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

#### ばく露防止

##### 設備対策

取り扱い場所の近くに手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明確に表示する。

作業する場所に上記設備が設けられない場合は、作業する場所近くにポリ缶或いは洗眼ビンを用意する。

##### 保護具

##### 呼吸用保護具

空気供給型の保護マスク

##### 手の保護具

耐酸性手袋

##### 眼の保護具

ゴーグル型保護眼鏡。

##### 皮膚及び身体の保護具

保護前掛け

### 9. 物理的及び化学的性質

#### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：緑色

臭い：特異な臭気

臭いの閾値：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点：データなし

沸点範囲：データなし

可燃性（ガス、液体及び固体）：燃焼しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：適用外

引火点：燃焼しない

自然発火点：適用外

分解温度：データなし

pH：2.2（DL-リンゴ酸として1w/w%）

動粘性率：データなし

溶解度：

水に対する溶解度：水には任意の割合で混和

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数：-1.26（DL-リンゴ酸）

蒸気圧：データなし

密度及び/又は相対密度：比重 1.217（20℃）

相対ガス密度(空気=1)：データなし  
粒子特性：適用外

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

濃アルカリとは激しく反応し、発熱する。塩素系漂白剤と反応し有害な塩素ガスを発生するので、接触させない。

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

### 危険有害反応可能性

特になし

### 避けるべき条件

アルカリ（塩基）、塩素系漂白剤と接触させない。

### 混触危険物質

アルカリ、塩素系漂白剤、アルミニウム等の金属

### 危険有害な分解生成物

特になし

## 11. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

#### 急性毒性

##### 急性毒性（経口）

DL-リンゴ酸のラットLD50>3200 mg/kgbw (PATTY (5th, 2001)) に基づき、JIS 分類基準の区分外（国連分類基準の区分5）となるため、区分に該当しないとしました。

##### 急性毒性（経皮）

適当なデータがなく、分類できない。

##### 急性毒性（吸入）

GHS の定義における液体であるため区分に該当しない。

適当なデータがなく、分類できない。

#### 局所効果

##### 皮膚腐食性/刺激性

DL-リンゴ酸のウサギ皮膚試験結果(中等度の刺激性区分2)に基づき、加算則により区分2とした。

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

DL-リンゴ酸のウサギ眼試験結果(重度の刺激区分2A)に基づき、加算則により区分2Aとした。

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

##### 呼吸器感作性

適当なデータがなく、分類できない。

##### 皮膚感作性

適当なデータがなく、分類できない。

#### 生殖細胞変異原性

適当なデータがなく、分類できない。

#### 発がん性

適当なデータがなく、分類できない。

#### 生殖毒性

適当なデータがなく、分類できない。

#### 特定標的臓器毒性

##### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

適当なデータがなく、分類できない。

##### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

適当なデータがなく、分類できない。

#### 誤えん有害性

適当なデータがなく、分類できない。

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

#### 水生環境有害性

##### 水生環境有害性 短期(急性)

適当なデータがなく、分類できない。

##### 水生環境有害性 長期(慢性)

適当なデータがなく、分類できない。

### 残留性・分解性

COD(Mn) 0.551 g/g (DL-リンゴ酸として)

BOD 0.08 g/g (DL-リンゴ酸として)

### 生体蓄積性

適当なデータがなく、分類できない。

### 土壌中の移動性

適当なデータがなく、分類できない。

### オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されていないことから、分類できない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

製品を廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に委託するか、50 倍以上に水で希釈後、

炭酸アルカリ或いは重炭酸アルカリで中和し、法の規定を守って処理を行う。

容器はきれいにしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方

自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去する。

## 14. 輸送上の注意

### 国連番号、国連分類

国連番号または ID 番号：非該当

### 環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

### 国内規制

陸上輸送：道路交通法の規定に従う。

海上輸送：船舶安全法の規定に従う。

航空輸送：航空法の規定に従う。

### 特別の安全対策

特別の安全対策：データなし

国内規制がある場合の規制情報：非該当

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

食品衛生法：食品添加物

その他使用される地域の法令に留意すること。

## 16. その他の情報

### 参照文献及び情報源

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)による GHS 分類

厚生労働省 職場のあんぜんサイト JIS Z 7252:2019 JIS Z 7253:2019

### 責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。